

○課題改善カリキュラム 技術・家庭科

【課題】安全管理の徹底

	身に付けさせたい資質・能力	指導の工夫	課題に迫る具体的な手立て	重視すべき単元名等
中学校	<ul style="list-style-type: none"> * 道具を安全かつ衛生的に扱うことができる。 * 家庭生活に役立て、自分の力で考えながらやり遂げることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 道具の使い方や管理の仕方を小学校と中学校で同じ観点で行う。 * 実習で一人一人が経験する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> * 先がとがった鋭い物（針や釘）、熱い物（鍋やアイロン、はんだごて）、刃物（裁ちばさみ、包丁、のこぎり）を扱う際に、毎回同じ物を提示し、確認を自分でできるようにする。 * 一人一人が自分で計画、実践できる課題を用意する。 * 作業を複数または、前半後半などと分けて交代させる。 	<ul style="list-style-type: none"> * 衣生活・住生活と自立 * 食生活と自立
小学校5・6年生	<ul style="list-style-type: none"> * 道具の基本的な知識や正しい使い方を身に付ける。 * 家庭生活を大切に、家族の一員としての自覚をもち、よりよくしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> * 学校で学習したことを家庭でも練習・実践できるよう、機会を設ける。 * 道具の使い方や管理の仕方を中学校と同じ観点で行う。 * 実習で一人一人が経験する機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> * 初めて裁縫道具や包丁を扱うときに、約束ややり方をまとめたプリントを配布し、同じ物を掲示する。毎回、同じやり方ができるように具体物も準備し、確認する。 * 先がとがった鋭い物（針や釘）、熱い物（鍋やアイロン、はんだごて）、刃物（裁ちばさみ、包丁、のこぎり）を扱う際に、毎回同じ物を提示し、全体で確認し、徹底できるようにする。 * 作業を分担するのではなく、一人一人が全ての作業を経験できるように計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤家庭生活と家族 ⑤快適な衣服と住まい ⑥日常の食事と調理の基礎 ⑥身近な消費生活と環境
小学校3・4年生				
小学校1・2年生				